

三三 受信二〇五四
開始〇〇六一

終了〇一二三

電一〇九五五

作概〇

昭和廿年七月廿五日



第一聯隊 於二千餘航空基地・大湊通信隊

機密件二一一五四七番電

十二航空艦隊機密件二〇二〇五六番電關聯

此ノ種ノ電報ハ特ニ航空索敵攻撃ヲサントスルガ如キ場合ニ於テ
迅速ヲ第一要件ト思科サルルヲ以テ里乙ヲ使用遠報スルコトト致

度

敵水上部隊北方ニ近接セルガ如キ場合ハ大湊根室等ニ於テモ待受配

備ヲ取付シ測定ニ努メナハ本土作戰實施上モ極メテ有效ト思科ス千

歳ニ於テモ測定員ハ一人ノミノ等。

一五五八五 呂一Bケ十三(八五一〇LO) 大湊放 星野(岩崎)

昭和廿年七月廿貳日

七 二二二 受信 〇〇二四九 了 〇一五 電 一〇〇九〇〇三 航作 本〇

作戦緊急



● 櫻島航空基地

● 天航空部隊・古仁屋航空基地

◎ 玄海水上基地

機密 第二一一一五五二番電 二分ノ二

1188

通報 九五一空古仁屋基地指揮官

六三四空司令部第六號

左ニ依リFRP信電令作第二五一號ニ依ル作戦ヲ實施ス

(1)兵力 櫻島部隊 瑞雲八(二十五番機裝)

(2)攻撃ノ時間 二三〇〇ヨリ〇一〇〇迄

(3)攻撃法 單機連續攻撃

(4)往返古仁屋基地ニ依リテ燃燐補給

(5)空界基地員七名二十二日二〇〇〇迄古仁屋ニ進出セム

(6)通信古仁屋ハ二十三日〇六〇〇ヨリ特令ス迄六八八〇(三七六五)ニ由リ

通一二五九三二五九三 口一五ノ十三(七八七五)一RFGI 長谷川(竹)

七二一

受信二〇〇六
開始二〇五〇

譯了二三三〇

電一〇八七〇

作概〇

昭和廿年七月廿五日

作

東通

第二時攻戰隊

舞道・横通・佐通・吳通

機密第二一一六一七番電 二分ノ一二

宛 軍務局長

通報 人專局長 特兵部長 大海參一部長 各鎮守府參謀長

六月軍務機密第一九一四五一番電關聯

最近新造ノ蛟龍隊ハ戰備所要物件受給ノ上蛟龍隊ヲ編成ノ要アル
ニ付關東方面日本海方面九州方面毎ニ各蛟龍隊ヲ編成發令方取計
ハレ度

三 第二十一突擊隊ノ新設ニ伴ヒ長崎港方面新造蛟龍隊ヲ同突擊隊ニ
通一二五三六 一二五三五 呂一〇ケ一三(七四四二)吳通 1

小森(河田)

0973

配屬方至急發令方相成度

之二件ハ機裝員ノ人事異動資料後送。

一〇月二日
機裝部
同送

七二一 受信二〇四五 開始二二五〇 了二三一五 電一〇〇八〇七六 作 橋 本

作戰緊急

昭和廿年七月廿貳日

- 天航空部隊作戰名令着信處所
- 藤枝航空基地
- 岩川航空基地

機密第二一一七一二番電 二分ノ二

岩川ヲヨリ部隊指揮官

二十二日ヨリ二十四日迄ノ當隊作戰要領次ノ如シ、任務、機密
 數、機進時刻ノ順)

二十二日

(イ) 列島線東海岸政軍機密式或同機六機〇三三〇

(ロ) 美制軍機星三機等或三機二二〇〇以後

一一三三三三

一〇一〇 (七八七五) 一KFGB放

吉田 (一)

(イ) 沖繩飛行場攻撃警星十機二二〇〇以後ヨリ二十三日迄

(ロ) 奄美大島制空警星三零戦三二三〇〇以後

(ハ) 沖繩攻撃警星六二三〇〇以後

二十日列島線東海岸攻撃警星四零戦四〇三三〇

(四) 但シテB信電令作第二五一號ニ依ル編攻撃當時(五日)ハ

警星二二零戦二沖繩攻撃零戦六列島線東海岸ニ攻ム。



七二二

受信開始 〇〇六〇〇

丁三三三

電

一一一五〇九

航作本概〇

侍

昭和十七年七月廿三日

千島防備部隊戦闘概報着信監所

機密第二七七五二番電 二分ノ下ニ

松輪基地戦闘概報(七月二十一日)

一〇二六「B」二四八機編隊三五度方向ヨリ來襲主トシテ飛行

場附近ヲ爆撃投弾約三〇〇(二〇珽降發彈)一〇五〇・八〇度方

向ニ脱去セリ

三戰果ナシ

三被害

(1)航空基地航空燃料油一〇〇〇珽重油一六〇珽火災第一兵舎直撃

擊彈一中破第二兵舎直撃二彈痕他八一兵員一名輕傷糧食庫直撃

通一二七六〇一二七六三 天三B十三(B)GFP 高山、内田(濑田)

彈三木工場直擊彈四編食庫直擊彈一人員ニ異狀ナシ
四天候快晴雲量ニ曇高約七〇〇〇米風速ニ米視界五〇軒。

作

七二一 受信二二〇 譯了二三〇 電一〇八一八
譯始二二四二

航本 作概

昭和廿年七月廿貳日

吳鎮口

報

東通・五航空艦隊P・内海空一三航空戰隊P
三航空艦隊P
機密第二一九一七番電

GB電令作第一三二號

吳鎮守府司令長官八石 午牧場ヲ白菊三〇機ノ秘匿
作戰基地(滑走路ヲ九〇〇米ニ延長)トシテ緊急整備
ス

近一二五六三 B-14十三(B) GFH 戸田(中野)

人

作

緊急

七二二

受信開始一二二五〇

譯了ー五四〇 電一一一五五

侍作 概

共符

二九警備隊戦闘概報着信艦所

機密第二二二二二〇三番電

二九警備隊戦闘概報 二十一日

一〇九一五單發二機

トヂンガジヨ峽洞一〇〇〇ヨリ約三時

間大型飛行艇一カウ灣制壓戦果被害ナレ

二通信連絡不良ナルモ一ニ〇〇迄タルハ出港敷設艦一驅逐艦一針路

東入港大型二(滿載)驅逐艦一驅潜艦二碇泊〇八〇〇カ大型一〇

中型五小型四油槽船三工作船一敷設艦一病院船一驅逐艦一〇驅潜

艇一魚雷艇四海上トラツク一四大型二〇三〇曳船三標的船一

三 砲口タイ發進機針路北乃至西大型一七中型一小型五計二三ノ他

通信連絡不良ノ爲不明。

一 二八七三 呂一Bラ十八(一四三六七五)二一通信 田中(上野)

1193

七 二二二 發信 〇〇七四〇 譯丁一〇二〇 電一〇一四四 發 施

至 急

● 第一千航空基地

● 伊賀上野航空基地

● 東通・第二鈴鹿・樺山各航空基地
● 海軍總司令部・大湊通・厚木航空基地

機密第二一二二三八番電 二分ノ二三

發 第一百一航空隊隊參謀

宛 北東空司令

通報 第四十一航空廠廠務課長 航空本部總務部長 第十二航空

機隊參謀

伊賀上野基地機密第二一〇九〇三番電

一 左記燃料七月二十五日迄二名山基地ニ準備方取計ヲ得度

燃料自動計六燃料補給車四台自動計重機自動車一消防水

一 一二七九八 呂一四六十三(七) 黒田(參圖)

(2)

シブ(小)ニ救急車ニ作業三輪車一側車一航法目標燈三〇〇〇夜燈
 用指導燈及カンテラ一經
 ニ向嶺山基地夜間飛行施設(場周燈障燈風向燈)現狀至急通知ヲ得
 應。

(2)

七二二

受信〇三四〇
譯始〇四二三

譯了〇四二四 電一〇九一三 作概〇

作戰緊急

● 黒 島



● 鎮 警 部 隊

濟州島北嶺線砲射隊申

〇一二〇

通一二七三七

略八九八三〇部一左二放

番四(河田)

昭和廿年七月廿貳日

1195

八

七
二二二
二二二
受信一六四〇
開始一六一五
一六四〇
一六一六五
作 概 〇

作戰緊急



- 九〇一空 釜山・麗水・舟山島・大浦・博多各派遣隊
- 九〇一空 領海派遣隊
- 七〇各口・唐津監視隊・第三五辰水ウ丸・領海警備府口

機密第二二一一〇五番電

N F B 司令作第四號
對馬海峽 敵潛艇集ノ兆アリ各隊ハ既令ノ日施暗戒ヲ特ニ強化スベシ

通一二九番一 呂一五十三 (七七二〇) 舞通 橋本 (里見)

モ二三三受信〇三三三〇〇 歸了〇五五〇〇 電一四一五 整備
開始〇四二〇〇

昭和廿七年七月一日

海 船 船 司 令 部

佐

通

海運總監督部。長崎在勤武官。釜山在勤武官

機密第二二一一五九番電

發 佐世保揚搭指揮官

通報 長崎監督長 長崎揚搭指揮官 南鮮揚搭指揮官

廣 ニテ修理中ナリシニム型山村丸修理完了セル所船舶司令部本船宛
水中聽音機裝備ノ指令ナリタルモ工事ニム尙三週間ヲ要スルニ付此
際工事ヲ取止メ取敢メ南鮮(釜山)ニ向ケ發航セシムルコトヲ積荷揚
船ニ關シ本船宛指令アリ度

通二三二九六 天二ヨク十三(五二〇〇) 佐放 石川(市原)

天

至	急								
局長	局長	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航
局長	局長	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航
局長	局長	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航
局長	局長	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航
局長	局長	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航
局長	局長	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航
局長	局長	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航
局長	局長	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航
局長	局長	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航	天航

七 二二
受信 二二〇四五〇
譯始 二二〇四五〇
譯了 二二二二〇
電自 二二二七〇
電至 二二二七〇
作機 〇・侍
參本

機密 第二二一四五三番電 三分ノ二

FRB 戰術概報 (七月二十二日)

彩雲一機〇八五〇ヨリ一〇〇〇迄沖繩周邊偵察目視綜合左ノ通

一 中城灣戰艦三隻巡洋艦六一七隻驅逐艦三一四隻大型輸送船二〇一三〇

浮船渠四艘逐艦母艦一隻(驅逐艦三一四隻橫附中)其ノ他約一〇〇隻

三 北中飛行場沖大型(六〇〇〇噸以上)艦艇四〇中小型艦艇八〇(艦艇

ノ大部ハ輸送船)其ノ他約五〇隻

三 小龍沖輸送船三〇隻南下中速力八節

通 三〇〇八六 三〇八九 呂 一日ケ十三 (七八七五K) 一 KFGB 放 小宮(阿波) 西川(阿波) (一)

四 金武灣 雲ノ爲不明

五 〇九〇〇地點「ホサ〇ゴ」艦逐艦五隻中翌線送船一五一二〇隻上陸用

舟艇六隻二列縦陣ニテ南下 速度八節

六 伊江島南方B一〇二D三針路不規則低速航行中

七 慶良間泊地詳細不明ナルモ艦船少數ナリ

八 哨戒機伊江島飛行場上空P一四七 四機乃至五機高度三〇〇〇中飛行

場上空P一四七 二機高度三〇〇〇ヲ認ム

九 沖縄附近天候快晴視界三〇雲高一〇〇〇米雲量四

昭和廿年七月廿四日

七二二三 受信一〇八二三 譯始一四〇〇三 譯了一四五〇 電一一六四一 航作概本〇

伊賀上野航空基地



一〇一航戰 海軍總隊 戸

機密第二二二七三二番電 二分ノ二三

訓示本職... 光輝アル第一挺身航空部隊統率ノ大任ヲ拜シ時 恰モ皇土決戦ノ神機ヲ享ム大和民族興亡ノ危局ニ立チ奉職傳統ヲ 第一挺身航空部隊隱忍敢闘ノ事績ヲ堅持先ノ光輝アル闘魂勃々 外速ニ各配備ニ不拔城壘ヲ築キ内必死ノ訓練ヲ重ネ

而シテ一人十殺滅敵必勝ノ備ヘテ固カラシメントス今こそ堅忍持久 幾層ノ重壓加ハルモ明朗私慾ヲ棄テ特攻挺身輸送竝ニ新機材 ノ緊急戦力化ニ徹シ道義日本ノ眞ノ姿ヲ顯現シテ率先護國ノ大任 ヲ全ウセンコトヲ期スベシ 呂一Bケ十三(B) 阪通 戸田(小澤)

人

至急

七二二三 受信〇七五八 開始一二四〇 一三一三四〇 電一一五九九八 作本〇

共 待



鹿屋航空基地・吳通 東通・海軍總隊口・岩國空基地

機密第二二一七五二番電 二分ノ一二

發 七二〇F司令官

策 五AF參謀長 吳守府參謀長

通報 航空本部總務部長 軍令部第一部長 施設本部總務部長 佐世保

施設部長 GB參謀長

内海西部ニ戰艦機用基地不足ノ現狀ニ鑑ミ岩國基地ノ強化ハ緊急實施ノ要アル處同基地ハ一度面爆ヲ受ンカ左ノ理由ニ依リ打合機能ヲ失フ折角隱匿セル飛行機ヲ全ク使用不能トナル虞大ナルニ付此計畫ノ東洋紡滑走路(幅四〇米長サ八〇〇米總度ノ離陸滑走路)ヲ至急着工シ且ク共八月一杯ニ竣工スル如ク促進方取計ヲ得度

通 一三三五六 一三三九五

呂一Bケ一三(七四四二七)吳通

兒玉(小幡君)(一)

昭和廿年七月廿四日

1200

一、飛行場ト飛行機墜所トヲ連ヌル唯一本ノ橋ヲ落サルレバ忽ニシテ
連絡杜絶ス

二、飛行場面ハトノ海面ヨリ一・二米低ク堤坊決潰セバ修復極メテ困難
ナリ。

昭和廿二年七月廿三日

電二二二 電信二〇四〇 電話二一五〇〇 丁二二三〇〇 電一三三七 侍

作

支那方面艦隊

支那、青島方面根下、旅順方面根下、
中文部隊指揮官

上海特別陸隊

機密 第二二一八四三番電

上海地區海軍防衛指揮官

遠東 大海參一部長 G B P 海上護衛司令部

戰國海報第十二號 (七月二十二日)

一、沖繩進襲 B J 二九 B J 二四 B I 二五 S B 二〇 I 一 P I 五 一 P I 三 八
約一六〇機一〇〇ヨリ約二時上海地區各飛行場及上海電力ヲ攻撃

二、結果 艦隻二隻被破

三、損害 中文艦 戦死一機 傷二艇 船頭タンク燃料一部焼失 衣糧廠公大一
廠中破民 傷死傷約一五〇名 家屋被燒約一〇〇

通一三〇九五 呂一〇三十三 (七四六五) 上海 長谷川 (猪 狩)



七二二 受信二二〇〇 了二二一〇 電一三三六 航作 本機〇

緊急

佐鎮部隊 佐鎮 P



大海一部、海軍艦隊口、鎮口、鎮口、五航空艦隊口、
一陸軍艦隊口、七艦隊各口、三四三空

機密第二二一九二一香電

發 參謀長

三四三空戰團機一三四五發進濟州島周邊五〇哩圏ヲ搜索セリモ一四四
九牛島岬ノ一七〇度二〇哩及一五一〇馬羅島ノ二一五度二三哩ニ夫々
激浮上潜水艦各一隻ヲ發見セル外級水上艦艇ヲ見ズ、
本朝ヨリ濟州島ノ北岸ヲ砲撃セルハ級潜水艦ト判斷サル。

通一三二三〇 於十七(九八三〇) 佐二放 清水(土谷)

昭和十七年七月廿四日

1202

作戦特別緊急

七 二三

受信開始 二〇二五〇八

終了 二一二五 電 一一二六四

特作

機〇

五二警備隊本部

北千島部隊

（通報表示） 警報通信系着信機所

機密 第二二一九五五番電

摺鉢海艦砲ヲ受ケツツアリ。

通上三一六〇 於一七（八五一〇KG）大湊放 富田（雨 谷）

昭和廿七年七月廿七日

1203

七
 二二二 受信
 二三二 始 〇二〇三五〇〇
 譯了 〇一一五
 電 一一三二九
 作 機・侍

至 急
 總大 長 臣・海軍 隊 P
 阪 警 P

各領各管各P・?・?

機密 第二二二二〇三八番電

機密報第二九號

一、一二〇〇頃ヨリ、一二九ニ誘導セラレタルP一五一 一七〇機二梯
 團ニテ阪神地區ニ侵入第一梯團ハ約一〇〇機第二梯團ハ潮岬方面ヨ
 リ約四〇機室戸方面ヨリ約三〇機侵入主トシテ航空基地及交通機關

ヲ攻ムセリ

三、戰果 陸隊一機

三、被害 ナシ

通一三一七三

口一Bケ十三

阪通 鈴木(竹内)

局長							
一課長							
A		L					
B		K					
E		I					
J		C					
G		H					
							永井



昭和廿七年四月

1204

七三二

電一五二〇

作概

昭和廿七年七月

作戰要急

共

符

海上護衛司令部

海軍總司令部
海軍第一艦隊司令部
海軍第二艦隊司令部
海軍第三艦隊司令部
海軍第四艦隊司令部
海軍第五艦隊司令部
海軍第六艦隊司令部
海軍第七艦隊司令部
海軍第八艦隊司令部
海軍第九艦隊司令部
海軍第十艦隊司令部
海軍第十一艦隊司令部
海軍第十二艦隊司令部
海軍第十三艦隊司令部
海軍第十四艦隊司令部
海軍第十五艦隊司令部
海軍第十六艦隊司令部
海軍第十七艦隊司令部
海軍第十八艦隊司令部
海軍第十九艦隊司令部
海軍第二十艦隊司令部

機密第二二二〇五五番電

發 G. B. 參謀長

通報第二總軍參謀長

敵通信狀況ヨリ判断スルニ敵機動部隊ハ依然本土近海行動中ニシテ近
ク北九州及對馬海峽方面交還破壞作戰ヲ企圖スル算大ナリ北九州對馬
海峽及内海山陰海面所在船舶(小型船ヲ含ム)ノ避退疎開ニ關シ遺憾
ナキヲ期スルト共ニ飛行機ノ被害界限ニ付特ニ留意アリ度
通三九九〇 天一〇夕十三 (大見)

1205



七 二三

受信始 〇〇八三四六

譯了 〇九三八

電 一一五七七
一一五七八

作 統

昭和廿年七月廿四日

急

占 守 通

東通・千島防備部隊戰國統報着信處所・千島防備隊
松輪航空基地

機密 第二二二二四八番電 二分ノ一二

北千島部隊戰國統報第一二號二十二日

二十二日一九五〇ヨリ約二五分間敵艦快部隊數隻ハ指針灣ノ一八〇

度方向ヨリ同基地ヲ砲撃一〇〇度方向ニ退却セリ

一被害指針電信所炎上中施設部員戰死二名重傷三名輕傷三名其ノ

他ナシ

二天候濃霧視界三〇〇風力〇彈着ハ概ネ指針山附近ニアリ

三所見

一) 通信線報真ノ他ヨリ二十日松輪灣ニ近接ナル敵水上部隊艦艇

二隻區逐艦五隻ハ北洋方面南北途上隊方陸軍戰國統報ノ指針灣之

ヲ取北千島砲艦ヲ斷念改メテ霧中ニ本日指針灣ニ來襲ナルモ

ノト認ム海峽北洋漁業船中ナリトモ北千島ニ隊方飛行機ノ存

在ヲ敵ニ示スルコトハ追泊及漁業管備上極メテ有效ト認ム。

東通陸 本誌長宇藤メテ多シ

通二三三〇〇二三三〇三 天二日三三(八五〇〇)六機密

機密 (後同)

通一三三五三

於十七

(B)

(領地)

日

高(竹)

内)

一七二二船國艦砲射撃ヲ受ク布良沖我交戦中



作戦特別緊急

七二二三

受信始 〇〇三二四五

譯了 〇三三〇 電一四五三

作戦〇・侍

東京海軍部陸指揮官



四

二

艦

潛

艇

機密 第二二二四〇〇番電

昭和十七年七月廿四日

1207

七三三

受信〇五〇八
譯始〇三〇八

譯了〇六〇〇 電一四九八 災海

緊急

四二 驅潜艇



横領口・第一特攻戦隊

海上護衛總口・館山航空隊・東京海部除指揮官

機密 三三〇三〇〇 香港

一七二二船團三番船砲撃に依り火災救難不能一番船(舵故障)爲人
力竭舵(護衛館山)に向つ。

局長			
一課長			
A		L	
B		K	
E		I	
J		C	
G		H	
F		D	

通一三三八四

於一七()日

普通



森津(小林)

1208

昭和九年七月廿四日

一三三五四

於十七(五一〇〇)父

小林(竹内)

我敵ノ艦砲射撃ヲ受ク

〇三三五

機密第二三〇三二八番電

傍

作戰緊急

七二三 受信始〇〇四〇五〇三

了〇四〇七

一四五四

作機〇侍

父

根

1209

昭和十七年七月十四日

一三三八六 於一七(三九八五五) 五FGB 小林 (小)

局長			
課長			
A			
B		K	
E		I	
J		C	
G		H	
			永井

母身ノ一〇度ニ七〇〇日ニ敵機動部隊アリシモノノ如ク昨日一四三〇
ヨリ一六〇三ニ至リ小型機ノ爆撃所被シ九乃至一四回測セリ今二十三
日〇三三五ヨリ父島約五分回並砲射撃ヲ受ケタリ



作戦緊急

七二二
受信開始〇五五八
了〇六三五
電一四九七
作 〇

父島戦團無線着信所

母島警備隊

機密第二三〇四〇八番電

昭和十七年七月廿四日

1210

朱

七二三
至急

受信一六五二
譯始一六五二

譯了二七三五

電一七〇〇

航作

△本概〇



③ ④

第三特攻隊

大海參一部長・七艦隊各P・銀警P・第五
特攻隊P・三四突撃隊・?

機密第二三一〇四四番電

電令第一八號第三特攻隊司令官ハ第七艦隊司令長官ノ協議ニ
應ジ對馬海峽近海ノ特攻作戦準備ニ關シ協力スベシ。

通一三五一五

呂一Bノ十三

(九八三〇KG)

佐二放

加藤(小澤)

昭和二十七年七月十四日

1211



七二四

受信開始 〇〇二二一五

終了 〇二五五

電一 一九三三
一一九三四

航作概本 〇

共

符

宮崎航空基地

二三一 一三五 三五 二分ノ二

1212

六航軍参電第一七四ニ號 其ノ二

飛行第七隊隊長ニ傳ヘラレ度

ヲ根拠基地トスルコト北ノ施設豫期ノ如クナラザル場合

ハミキ島ニ飛行機ヲ近接セシメヲ發進基地トスルニ關シ鈴木高級参

謀ヨリ偵察ヲ指示セラレタルナリニ關スル輸送ハ變更ヲ要セズ配慮

ヲ待度。

一東通註 本電地名「〇六六九」ハ地名辭典、鉛筆記入未着ニ付不明

一三三八七〇

島作 (七八七五) KFGB 戸口・小森 (田)

昭和廿年七月廿四日

昭和廿年七月廿四日

七
二二四 受信 二二〇六 譯了 〇一五 電 一一八七八 整備

譯始 〇〇五〇

一一八七九

東 通 舞 通

第一氷川丸・佐 通

機密第二三一五〇九番電 二分ノ一二

1213

發 參 謀 長

府 G B 參 謀 長 熊本 總務部長

通報 佐世保鎮守府參謀長 佐世保工廠長

舞鶴工廠ハ日本海方面緊急輸送ニ伴フ國家船舶護衛艦艇及潜水艦等ノ
修理程度ニ幅狭シセルニ付最近頻ニ激増シツツアル觸雷損傷船ノ工事
ヲ引受ケ手一杯ノ狀況ナルヲ以テ第二氷川丸ノ修理改装工事ハ成ルベ
ク佐廠ニ於テ施行方取計ハレ度。

通 一三七七四九〇

天二日ケ十三(B) 一無通

牧野(上野和)

200T

昭和廿年七月廿四日

七二四

受信開始 〇〇二〇三〇〇

了〇二四〇 電一一九〇八

整施

至急

東

通

佐

鎮

戸

海軍總隊口・第五航空艦隊口・二七航空戦隊口

機密第二三一七五五番電

宛 佐世保海兵團長

通報 航空本部 施設本部 西海空 佐世保施設部

佐鎮信電令第九一號

佐世保海兵團長ハ遠ニ兵力約八〇〇名ヲ大村ニ派遣佐世保施設部長ノ

協ニ願シ大村ニ地緊急整備ニ協力ヒシムベシ。

通一三八四八

台一四々十三(五二〇〇K) 佐連

岩佐(森田)

人

七二二 受信二二〇六
詳如〇〇一五

二四 了〇〇五五 電一一八七二

作 稿

昭和廿四年七月廿四日

緊急

符

符

南鳥島戦艦隊概観報告信艦所

機密第二三一九

南鳥島守備部隊指揮官

戦艦概観（七月二十三日）

六四〇九二〇B一二九一一砲架變高長約五五〇〇米ニテ約四五〇發投

彈（時被弾多數混用）一十二五甲リ一五〇五迄サロニキ一一本

島周邊偵察

四砲潜一變〇四三ヨリ一七四〇迄南西海面ヲ哨戒

三發射弾數（發射數）十二發七高角砲一（六二四）

通一三七六一 百一百分之十三（三九八五）七四〇（長尾）

局長	五番電						
A							
B	福						
E							
J							
G							
F							

1215

三 戰果ナシ

四 第二兵舎中破幕舎大破三陸軍自動車一輛其ノ他兵器彈藥若干損
 差 戰死 海軍下士官四 兵一 陸軍兵五 施設部工員機噐化兵重
 傷海軍兵三

緊急

七
二三
二四 受信二三二二
始 〇〇一五

丁 〇一〇〇

電 一一九一七
一一九一八

作 〇

共符

先遣部隊

機密第三三一九一六番電 二分ノ二

停

先遣部隊綜合情報第一〇七號

一 通信情報

(1) 敵機動部隊ハ尙房線南東海面ヲ行動中ナルモ之ニ關聯セル政略企
 圖ヲ認メズ第三艦隊艦艇ト推定ノモノ〇一三〇地點ノコミヘノ附近
 ニ測定セリ及二十一日以降樂港方面ヨリハワイマーシャル方面經由
 比島ニ對シ相當ナル船團西航ヲ示唆スル狀況アリ

(2) 最近本土南西海面及對馬海峡方面電波輻射スル敵艦多シ敵ノ策動ニ
 對シ警戒ヲ要ス

通一三
七八五、一三八〇一 占一七ケ十三 (五二九五EG) 六月廿六日 明比、坂本(大見)

昭和廿年七月廿四日

三、沖繩周遊二十二日一〇〇〇島偵察機四巡洋艦一〇空母一

送船一〇〇其ノ他約二二〇

三、父島本朝〇三一七敵巡洋艦又ハ敵巡艦四乃至五ノ艦砲射撃ヲ受ク

被害ナシ

四、二十一日以來敵魚雷艇奄美大島及沖永良部 島近海ニ出沒。

特

昭和廿年七月廿四日

七二四 受信開始 〇〇五〇〇〇 終了 〇六〇〇 電報 一一二〇一四三 航作本機 〇

至急

鹿兒島航空基地

海軍航空隊

第五航空艦隊・九州空

機密第二三二二二二番電 二分ノ一、二

通報九州空軍進捗状況 (七月二十三日現在)

一 人員准士官以上 (下士官兵) 基地隊一八 (五九九) 防空隊七 (三七

七) 警備隊三五 (一〇〇五) 生庫隊六 (二五八) 計六六 (二二二二

二 作戦用航空燃料現有量 (比率) A八七現有量以上二一八・五噸 (二

九一) A八五以下〇五六二 (即座)

通一一三九三九 西一B夕一三 (七八七五KG) 一KFGD 西岡 (雨谷)

1217

三 彈藥現有量（比率）二十五番通常七五ト、一〇〇三番三號七二・八九
 ○ 六番二七號及一番二八號〇二五結二號二四六〇〇（一・二・三）一
 三結（三式）四五〇〇〇（八一八一）・九
 三 陸無線電話器一、九三式特受信（清表用）三



作職緊急

七二四

兵信〇八〇五
静〇八二五

了〇八三七

二〇六五

作〇
航本

天 航 空 部

共



密第二四〇七〇五番

敵情速報

四國中國九州各地本朝〇六〇〇以後敵艦載機來襲シツツアリ後動部

隊ハ足指ノ一三五度方向ニアルト略確實各隊警戒ヲ嚴ニナセ

局長	一等長	A	L
		B	K
		E	I
		J	C
			H
		F	D

一四〇六三

才一七(七八七五知)

一K B B B

表(河田)

1011

昭和七年七月廿四日

七二四 受 〇八一五 電一四〇四六 課 編

作職緊急

着 〇情報着信監所・各口・各口

機密電話第二四〇七三 六番電

〇情報第六號

本二十四日 〇情報第六號 B-1 二九六 〇情報第六號 A-1 二九六 〇情報第六號 B-1 二九六 〇情報第六號 A-1 二九六

編一四〇一 B

東(川口)

1219

七二四

受信開始 一〇〇三〇五

譯了 一〇四五 電一二〇八〇

航作稿本〇

作機緊急

○ 木更津空基地

一三一、七五二各航空隊。香取空基地

海軍總隊、天航空部隊指揮官



機密第二四〇八四四番電

三A B 參謀長

敵情ニ依リ薄暮夜間天山隊流星隊ノ練度優秀ナル一部兵力（各五乃至六機程度）ヲ以テ特襲攻撃（雷撃）ヲ實施セシメラルヲ以テ準備シ
僅カレ度。

通一四〇六六

呂一B 六十三（三九八五EC）

七F G B 放

新倉（波田野）

存
察
念

七二四

一〇九〇二八

丁一〇二〇 一〇七九 作 〇



七二四

大 空 道

五 空 道

機密第二四〇九一七番

機密ノ為紙電三〇機發進 〇九〇五

道一四〇八五 才一七(九八三〇) 佐藤放 宏彦(河田)

昭和廿年七月廿七日

七・二五 受信二三二七 譯了〇八四〇 電一三一七三 災作〇
譯始〇八一〇 電一三一七四

共符

東京通信隊

機密第二五一四三九番電 二分ノ二三

1222

發 在門司三枝監督官

宛 海政本部 船務部長

徳山防備隊所屬第二二六號潜水艇(一三〇噸)七月二十日一

三五燭雷目下門司地區ニテ救急作業中損傷ノ狀況左ノ通

下船體關係約二十日間ノ入渠修理ヲ要ス

主機關係 主機機殼裝ヲ要ス空氣壓縮機換裝諸作業一五キロツト

發電機修理出港後再使用可能ノ見込詳。目下調査中

右ノ通ナルモ當地區ニテハ修理困難ニ付指示ヲ得度

通一五〇六〇、一五〇六四 五二〇〇(五二〇〇K) 佐通 村山、丸口(本見)

1014